

## H24 年度 第 3 回油化学セミナー

テーマ：「新製品開発のヒント ～スマートオレオマテリアルを使おう～」

内容：スマートマテリアル(刺激応答材料)とは、外的刺激を感知し、その刺激に対して適切な反応をする材料である。近年、国内市場の縮小やグローバル化に伴う企業間競争の激化により、ヒット商品が生まれにくくなったと言われている。本セミナーでは、油脂産業における刺激応答材料“スマートオレオマテリアル” の設計・創製から上手な活用法まで、この分野のフロントランナーである四名の講師がわかりやすく紹介し、未来のヒット商品につながる製品開発のヒントを提供する。

日時：2012年11月22日(木)13:00～17:30 (懇親会:講演会終了後18:00～20:00)

場所：森戸記念館 第一フォーラム(懇親会場は第四会議室)

主催：公益社団法人 日本油化学会関東支部

講師と演題：

1) 「スマートマテリアルの創製と展開:新しいゲル材料の開発」

(独) 産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 スマートマテリアルグループ長

吉田 勝 氏

我々は、産業応用上有用な機能材料としての、新しい「スマートマテリアル」の開発に取り組んでいる。本講演では、特に新しい機能性ソフトマテリアルとして、我々のグループが最近開発した水や種々の有機溶媒を基盤とする新規「ゲル」材料について、その製法や特徴について解説する。

2) 「刺激応答性界面活性剤の新展開」

東京理科大学工学部工業化学科 教授 酒井 秀樹 氏

光・電気・熱などの刺激により界面活性剤の分子集合体形成を制御できれば、分子集合体内に保持した薬剤・香料などの機能性分子の放出速度制御など、多様な応用が期待できる。本講では、光応答性(解裂性)界面活性による溶液物性のスイッチング、ならびに重合性界面活性剤を用いた分子集合体の固定化などについて紹介する。

3) 「化粧品における粉末表面処理技術の進化

～pH応答性高分子を用いた高耐水性、高洗浄性粉末の開発とサンスクリーンへの応用～」

(株)資生堂 リサーチセンター 大澤 友 氏

化粧品には様々な粉末表面処理技術が用いられている。新奇な粉末表面処理剤として、酸性・中性では疎水性、アルカリ性では親水性を示すpH応答性高分子を合成した。本高分子を処理した酸化チタンを用いることで高い耐水性と石鹼などの洗浄料で容易に洗い落とせる高い洗浄性を両立したサンスクリーンの開発に成功した。

4) 「水分や汗を感知して香る柔軟仕上げ剤の開発」

ファブリック&ホームケア研究センター ハウスホールド研究所 グループリーダー

岡本 好正 氏

ふとした瞬間感じる香りに癒された、前向きになれた、そんな経験はありませんか？ 柔軟剤で仕上げた衣類は、身体のすぐ近くで香り、人を心地よい気分にしてくれます。いつも新鮮な香りを感じて快適に過ごせる柔軟剤の開発について、水分や汗を感知して香る新しい柔軟剤の例を挙げてご紹介します。

参加費(予定): 日本油化学会個人会員 4,000 円、同法人会員・協賛学会個人会員 5,000 円、  
一般 7,000 円、学生@1,000 円

懇親会費(予定): 3,000 円

以上